

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 7 年 3 月 4 日

札幌市立 南小学校

1 今年度の重点目標

自信をもって動き出す

2 本年度の経営方針

元気いっぱい 笑顔いっぱい 学びいっぱい ～子どもが明日も来たいという学校の創造～

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	ひとみかがやく南の子	特別教育の視点をもった児童理解	B	・多様性や個性を認め合える学級風土の醸成 ・インクルーシブ教育の推進 ・すべきことを明確にし、曖昧な指導を行わない	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・各学年発達段階に応じ、自分たちで考えさせるという取組をしているとお聞きしました。 ・廊下や教室での子どもたちの雰囲気は良く、大変素直で、キラキラとした目で挨拶してくれ成果を感じました。 ・今後もインクルーシブ教育の視点をもち、より良い支援（取組）をしたいとのことで大変期待しています。 ・これからも南小の子どもたちが、素直で伸び伸びと育つよう御指導、御支援をお願いします。 ・子どもたち個々の特性を伸ばし、お互いの個性を認め合うご指導に感謝いたします。インクルーシブ教育については、そよかぜ学級との交流の時間は、子どもたちにとって貴重な機会だと考えております。				
人間尊重の教育	自己肯定感・自己有用感を高める	自己承認や他者への承認、他者からの承認を得る場の設定	B	・教職員自らの人間尊重の意識の向上 ・互いのよさや可能性を発揮できる取組の充実	A	A
「学ぶ力」の育成	分かる・できる・楽しい授業	・日々、授業改善に取組 ・基礎基本の定着を図る	B	・子ども自身が見通しをもち、他者と協働しながら学ぶ場の設定 ・知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等という資質・能力をバランスよく育む	A	B
「豊かな心」の育成	道徳教育の推進	・温かい人間関係を築く ・異なる価値観を承認し合う	B	・互いを尊重し、支え合い、よりよく生きようとする態度を育む ・特別の教科道徳の授業の充実	A	A
「健やかな体」の育成	体育・保健体育等の授業の充実	・子どもが運動したくなる授業の構築 ・栄養教諭や養護教諭と連携した健康教育の充実	B	・運動やスポーツが好き、体育の授業が楽しいと答える児童を増やす ・学校の取組を保護者等にも伝え、家庭や地域との連携を図る	A	B
一貫性・連続性のある教育（小中一貫した教育）	小中一貫した教育の推進	幼保小も含む他校種の教職員と連携・協働し、子ども理解を図る	B	・地域にある幼稚園、保育園との連携の充実 ・パートナー校による連携の充実	A	B
学校関係者評価委員会による意見		・他者とのかわりの中で、自己肯定感、自己有用感を高め、お互いに温かい人間関係を築くことができるよう道徳指導を充実させている。徐々に主体性や積極性が身に付いてくると思いました。また、分かる・できる・楽しい授業という点でも、各教科苦手な子どもを取りこぼさないように配慮した授業というお話を聞き、継続していただきたいと思いました。 ・小中一貫した教育では、幼・保・小連携ができつつあるとのことで確実に前進していると感じました。 ・各項目の達成状況は、大変厳しい目で分析していると思えます。 ・子どもたち、一人ひとりの自己肯定感を高める取り組みに期待します。幼稚園、保育園との交流やパートナー校の真駒内曙中学校との交流の機会は、子どもたちの成長を促し貴重な体験となると感じます。				
学校独自に設定する分野	安全教育～生活・交通・災害の安全について 思考力・判断力を高める～		B	・専門家と連携した総合的な学習の時間による防災教育 ・考える場を設定した避難訓練	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・安全教育の考え方をお聞きし、大変実効性のある避難訓練を実施していると感じました。 ・子どもたち一人一人が考え話し合っって最良の方法を決める。ここにも人間尊重の教育が取り入れられていると感じました。素晴らしい取り組みだと思いました。				